

第12回

さくらピア避難所体験

トイレの話と 新しい避難様式

～ 体験しよう 備えよう 障害者の防災を考える集い ～



2020/9/26

実施報告書

～新型コロナウイルスと災害と～

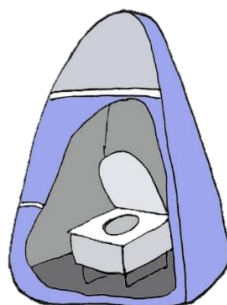
2020年2月から世界中が新型コロナウイルス感染症の流行によって、教育も療育も就労も介護も何もかもが大きな試練を受けることになりました。さくらピアも行事の中止、会館の利用制限など模索しながら運営をしています。今年度は開催を迷いましたが防災活動は日常生活の延長線上にあるもの、生活にかかわりのある大切なものとして実施しました。

避難所体験の翌日、豊橋で震度4の地震がありエレベーターの停止、防火扉の作動を経験しました。「訓練は大事なな」と実感しました。

参加者内訳

障害等種別	人数(人)
障害者	11
身体	7
内部・聴覚	1
聴覚	2
視覚	0
精神	1
知的	0
発達	0
家族	4
一般	15
合計	30

コロナウイルス感染症防止のため、今年度は定員30名で規模を縮小して実施。申込者は全員出席で、関心の高さがうかがわれました。



スケジュール

- 9:30 受付開始 (3階大会議室廊下)
- 10:00 **開会**
主催者あいさつ 豊橋障害者(児)団体連合協議会 会長 山下徹
- 10:05 **①災害時の地域助け合いを進めよう ~新しい避難様式~**
講師：豊橋市福祉政策課 中村光伸・兵藤広之
- 10:45 質疑応答
- 10:50 **②避難所のトイレ事情**
講師：加山興業(株) 中嶋あゆみ
- 11:40 質疑応答・アンケート記入
- 11:50 **避難経路の確認**
3密回避のため、少人数で順次退出、避難経路確認



①災害時の地域の助け合いを進めよう ～新しい避難様式～



2020年3月11日、WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスをパンデミック（世界的な流行）と宣言し、半年以上たった今も増え続けている。コロナウイルスの感染経路は大きく分けて2つ、飛沫感染と接触感染とされている。飛沫感染とは咳、くしゃみ、つばなどによるもので、日常会話で2メートル、くしゃみは5メートル程度まで飛沫が飛び空中を浮遊している。接触感染は、たとえばドアノブやスイッチ、つり革など共用部分を触れた手で食べたり目をこすったりすることで体内に侵入する。感染防止の対策は3つ。

- ①こまめな手洗い（ハッピーバースディの歌を歌いながら洗うとだいたい20秒）
- ②マスクを正しく着用し咳エチケット
- ③人混みに行かないなどの自己防衛策をしっかりとる。

◆分散避難について

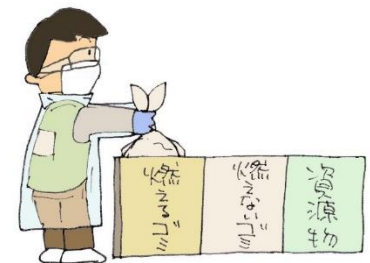
今までは自宅と指定避難所の2択だったが、今後は自分の障害や生活に合った避難先を事前に決めておくことが大切。避難所の他に学校、テント、車、親戚や友人の家などこれを機会に相談するとよい。避難所では共用部分に触る前後の手指の消毒、間仕切りの活用が有効。今までの非常持ち出し袋を見直してマスク、消毒薬、体温計などを補充するとよい。



②避難所のトイレ事情

当社は産業廃棄物処理会社。社会の廃棄物処理をしているので、人間の排泄物の処理にも取り組み出口を支えようというのが会社のスタンス。災害時には被災地支援にも行っている。

災害時のトイレは、遠い、汚い、使いにくい三重苦である。脂っぽい弁当や野菜不足、水分不足、ストレスの上にトイレを我慢すると膀胱炎、腎盂炎、エコノミー症候群などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもある。東日本大震災のとき、遅いところでは2か月後に仮設トイレが届いたそうだ。電気や上下水道が復旧して普通のトイレが利用できるようになるまでの間、簡単に使える非常用トイレはとても便利。災害時は、カフェインの入っていない麦茶やスポーツドリンクを飲み、トイレコントロールを考えることも知恵の一つ。非常用トイレは、携帯トイレや簡易トイレ→マンホールトイレ→仮設トイレや車載トイレ、と発災後から時系列で変化してゆく。初期の何日かをできるだけストレスを少なく過ごせるように、ぜひ各自で備えることをお勧めしたい。粉末のタイプは、100円均一などにもあり価格も手頃。今日は可燃ごみとして処理でき、抗菌消臭作用のあるものを準備した。（会場にて各自で実験）





2020年9月26日(土)

①災害時の地域の助け合いを進めよう
～新しい避難様式～



講師：中村光伸さん・兵藤広之さん
(豊橋市福祉政策課)



くしゃみの飛沫は5m!



手洗い 20秒
♪ハッピーバースデーを歌いながら



分散避難
複数の避難先を決めておこう!



段ボールの間仕切りで飛沫防止
大人が正座した高さ



飛沫は上に漂う? 下に落ちる?

軽いので空中を浮遊します

② みんなが心配 トイレの話

さくらピア 2020 避難所体験

2020年9月26日(土)



避難所に車いすトイレはある？



※豊橋市防災危機管理課 HP【多目的トイレの設置状況】などで確認できます。

講師：中嶋あゆみさん(加山興業)



実際に試してみよう！

水の中に凝固剤を入れると...



すぐ固まった！



固まったら 袋を縛って捨てる



一度使ってみて、自分に合ったものを選ぶとよい

市販の携帯トイレ



分散避難訓練



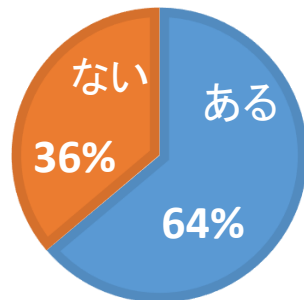
今日の話を参考に今できることを考え、みんなで備えましょう！



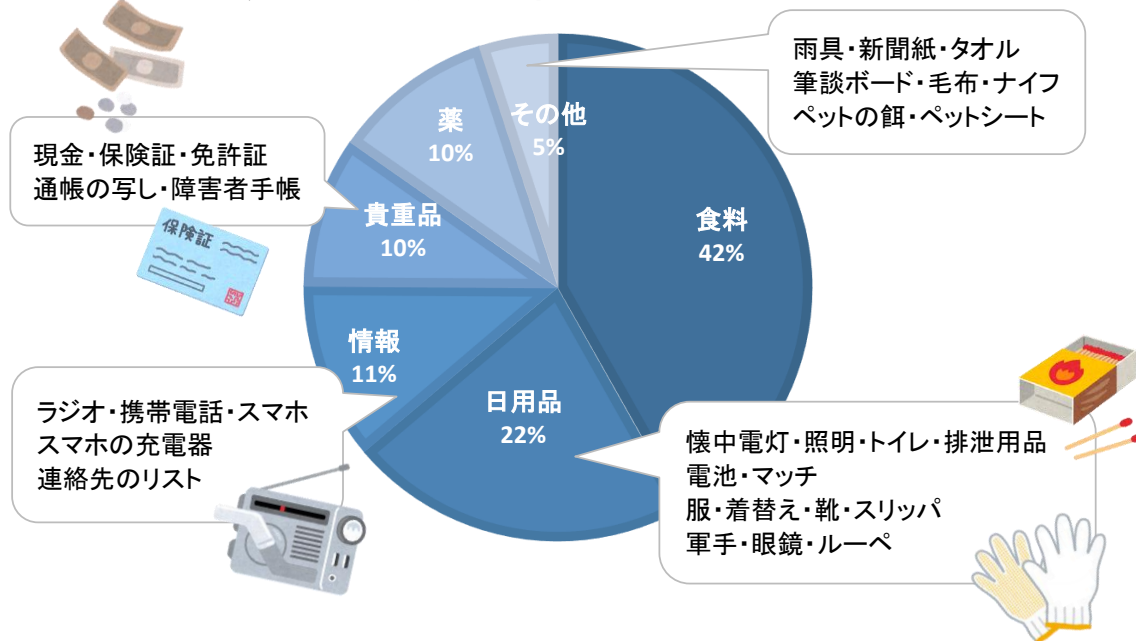
2020 さくらピア避難所体験 事前アンケート 結果

8月14日から2週間、216人の皆さんにご協力いただきました

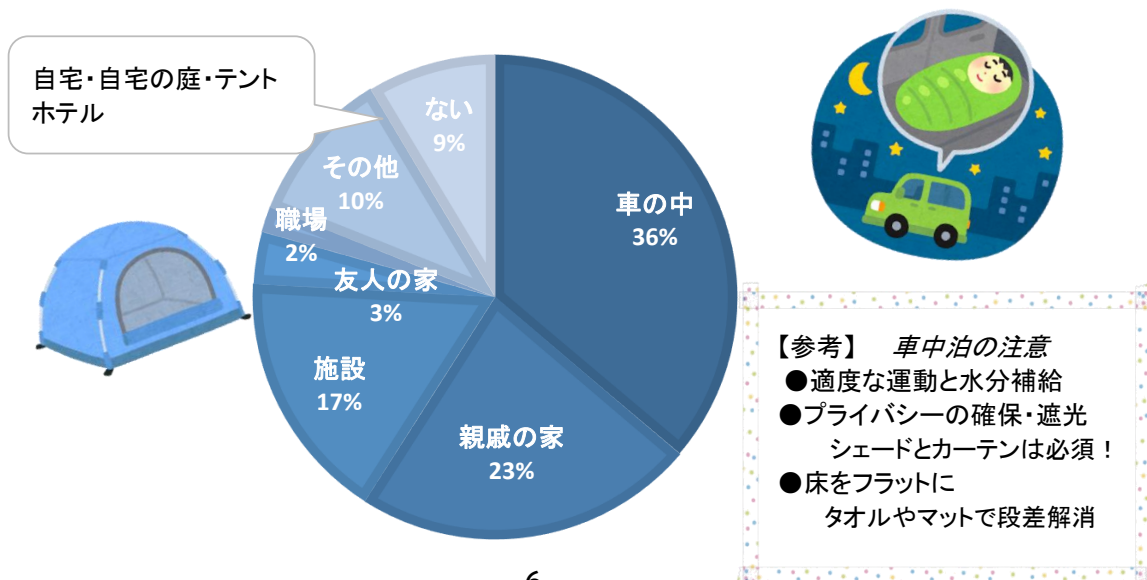
●非常持出し袋は



●非常持出袋 大事なもの



●災害で自宅が壊れたら、避難所以外にどこへ行きますか？



●避難所で、コロナウイルス感染症に関して心配なことは？

避難所で過ごすならマスクがないと……。マスクは足りるのかな。

持病があるから、避難所は怖いなあ。重症化するっていうし……。

避難所では定期的に消毒してくれるの？
換気はできるのかな？

自覚症状がなく人に感染させてしまったらどうしよう。

三密でコロナが広がらないかな。隔離するスペースはあるの？

視覚障害があるけど、誘導してもらえるかな。

避難所体験 参加者アンケートより

- * 避難所での段ボール間仕切りを見ることができ安心した。想像より広く、高さもあり、ウイルス防止はもちろんプライバシーの点でもよい。避難所全てに多目的トイレ希望。
- * コロナで避難所の受け入れ人数が減るとか。実際の写真で不安を感じた。
- * 豊橋市でも段ボールの間仕切り、ベッドの備蓄をすすめているとの事で安心した。
- * 飛沫の距離など具体的でわかりやすかった。
トイレも「入口があれば出口がある」なるほどです。
- * 自宅避難や分散避難を考えないと。
トイレの話は大事なことと思いつい後回しにしていた。
- * 避難したときの心配がトイレ問題でした。携帯トイレを準備しよう。
- * コロナ禍の避難を考えると、自宅で過ごす対応も重要。防災用品としてトイレを足そう。
- * 防災用グッズを家の中で複数個所に置いたら、しばらくしてどこに置いたか忘れた。
いい保管の仕方を知りたい。
- * 非常食と同じくらいトイレも大事。
- * 最近本当に災害が多いので、家族との話し合いが大切だと思った。



災害時に新しい様式で

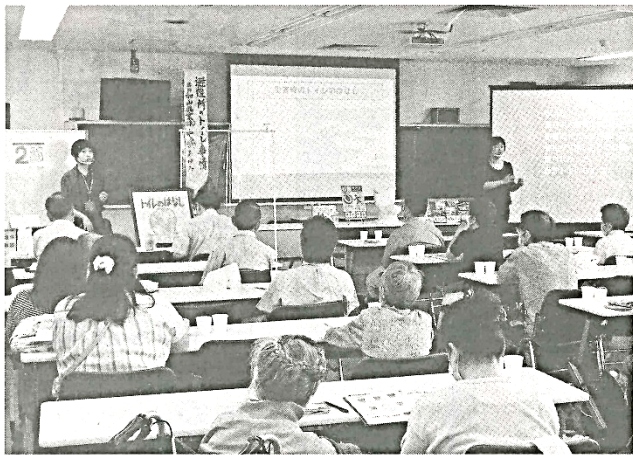
豊橋

障害当事者や
地域住民ら参加

さくらピア避難所体験

豊橋

障害当事者や家族、ボランティア、地域住民ら
が防災を学ぶ「さくらピア」
2020避難所体験



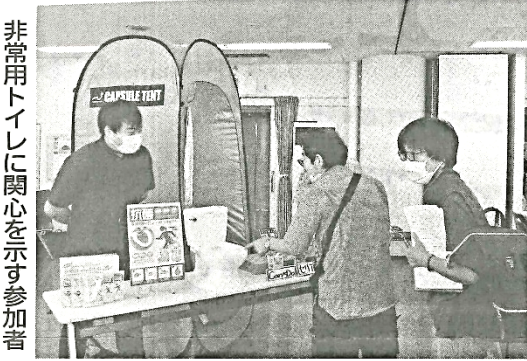
災害時のトイレ事情などをテーマにした
避難所体験＝いずれもさくらピアで

が26日、同市障害者福祉会館「さくらピア」で開かれた。災害避難時のトイレ事情や、新型コロナウイルス禍における「新しい避難様式」について市民が知識を深めた。「体験しよう 備えよう 障害者の防災を考えよう」と銘打ち、同館指定管理者の「豊橋障害者（児）団体連合会協議会」（豊障連、山下徹会長）が毎年開く事業。福祉避難所指定の同館を使い、避難生活を検証する。障害当事者を主体とした継続的な防災啓発事業の取り組みは全国でも高い評価を受けている。講演や避難訓練、災害

ボランティアの受け入れと申し込み、避難所開設レイアウト実習、防災運動会と、毎年異なる内容で開く。今年は座学で、以前から関心の高かった「避難時のトイレ」をテーマにした。「新型コロナウイルス感染拡大の影響で時間を短縮し、参加者も30人と絞って実施した。施設利用者や関心のある市民らが市内各地から参加し、関心の高さを伺わせた。はじめに、豊橋市福祉政策課の中村光伸さん、兵藤広之さんが「災害時の地域助け合いを進めよう」と新しい避難様式」と題し講演した。コロナ前後の避難所の写真を比較紹介し、新しい避難様式として「分散避難」を示した。「指定の避難所が混んでいて入れない場合などを考え、友人や親戚宅、車中泊といった複数

の避難先を考慮しておくことが大切」と説いた。非常用持ち出し袋にマスクや消毒液を入れることも呼びかけた。続いて、産業廃棄物処理・リサイクルなど手掛ける「加山興業」（豊川市）の中嶋あゆみさんが「避難所のトイレ事情」について講演した。災害時のインフラ復旧は電気、ガス、上下水道の順で、水洗トイレの使用には時間がかかる」と紹介した。避難時のトイレについて「遠い、汚い、使いにくい、三重苦。だからといって我慢すると膀胱炎や腎盂（じんろう）炎、エコーノミイ症候

群につながる恐れもあり、被災のストレス、疲労が重なり亡くなった人もいる」と述べた。同社が扱う非常用トイレの説明もあり、参加者自身が凝固剤に水を加えて、吸水システムを体験した。帰りに非常用トイレを土産でもらった参加者は「早速、防災袋に入れる」と話していた。



非常用トイレに関心を示す参加者

豊障連の山下会長は「『3・11のつどい』と合わせて年に2回、防災を考える機会にしてみたら」と話していた。
【田中博子】

東愛知新聞

令和2年9月27日（日）

さくらピア防災タイム 2020 まとめ



各グループの活動時間に実施

2020年9月1日(火)～13日(日)

午前11時30分・午後2時30分・午後8時の1日3回

訓練放送の後各グループごとに避難経路を確認

実施アンケートより



歩ける人

参加団体

61グループ

公園まで避難した人

障害者 169名

その他 170名

各階の避難所へ避難した

障害者 53名

その他 54名

合計 446名 (障害者 222名・その他 224名)



階段が
使えない人



マスクをすぐ使えるように
ポケットに入れておくといい。

間違って非常階段で地下まで
行ってしまった。

コロナ禍なら
ではの気づ
きもありまし
た。

避難した公園でもソーシャル
ディスタンスを保った待機が
必要。

避難経路は
複数ありま
す。間違い
ではないで
すよ。

2階3階に避難所が何ヶ所も
あることが分かった。

初めての参加者がいる時は、職員が
ついてもらえると助かります。

避難所の広さは、
歩いて体感。
(視覚障害者)



屋外の避難経路は、手すり
がなく歩きづらかった。

職員が手薄でも、仲間と協力
して避難するための訓練です。



5年目の訓練です。今年はコロナ対策も
必要です。皆さんが、日頃からマスクや
三密に気を付けている様子が分かりま
した。



「防災タイム」で避難経路を確認する館利用者＝さくらピアで

利用者が自主的に避難

豊橋の「防災タイム」で訓練体験
さくらピア

豊橋市障害者福祉会館が運営。秋には大規模な「さくらピア」で1日から13日まで、毎年恒例の「防災タイム」を実施し、連日、利用者が避難訓練を体験している。

さくらピアは豊橋障害者(児)団体連合協議会

える機会としている。例年約600人が体験するが、今年は新型コロナウイルスの影響で延べ400人を見込んでいます。

1日3回、通常の活動中に訓練放送が流れ、利用者は職員の誘導のないまま、1〜3階の各部屋から屋外へ避難する。4日午前はピアカウンセラ

ーや手織りのサークル会員ら約20人が参加した。放送後は速やかに移動を開始。悪天候だったため、歩ける人は1階玄関までの避難経路をチェックしながら進み、車椅子利用者やつえの利用者は館内避難所に向かった。

団体ごとに自発的に人員を確認、職員は「大雨や地震など自然災害も多い。自助を意識し、避難経路をしっかりと覚えておいてほしい」と呼びかけた。

毎年、事後のアンケートを基に改善を手掛けている。各トアで異なるサムターンを統一したほか、今年は屋外階段と通路計4カ所に人感センサーライトを導入、早速夜間の訓練時に利用者から喜ばれた。【田中博子】

慌てず、けがせず行動して

豊橋市障害者福祉会館で避難訓練



訓練で避難する施設利用者ら＝豊橋市東新町の市障害者福祉会館で

豊橋市東新町の市障害者福祉会館(さくらピア)で利用団体が「さくらピア防災タイム」として、活動時間内での避難訓練に取り組んでいる。今月1〜13日の期間、一日二回実施し、利用者が自主的に避難経路を確認している。

十二日午後にあった訓練には、視覚、聴覚、身体障

害者ら約四十人が参加。避難は放送のほか、施設内の複数箇所に設置されたパトランプを点灯させて、聴覚障害者にも分かるようにした。利用者は非常階段などを使い屋外に出て、会館近くの公園に避難した。

車いす利用者は、消防などの救助を待つために二階ベランダに避難した。車い

すで避難した田原市の女性社員(左)は、「実際の災害時も、今日のように誰もがけがせず避難できればいい」と話した。さくらピアは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で各部屋の利用人数を制限していて、人数が少ない割には利用者が施設内の広範囲に散らばっている。本田栄子事務長は「いつ災害が起こっても対応できるよう、今後も防災意識を高めていきたい」と話した。(斎藤徹)

中日新聞

2020年9月13日(日)

夏休み企画

2020/07/19(日)

①発達障害について知ろう！

講師 荒川千秋さん・福田歌織さん
ささゆりの会
(発達障害の子どもを持つ親の会)

個性とは？



あなたの好きなことは？

お互いの苦手な部分を
助け合いましょう



破けないように

相手のことをよく見よう！

初めて会った人にも
上手に声をかけるよ！



じゃんけんぽん！



指文字スタンプコーナー



②防災ポッチャを 体験しよう！



講師 鈴木祥子さんほか
(enjoy ポッチャ)



2020/07/19(日)

ボッチャ通じて 発達障害を学ぶ

豊橋で考える催し

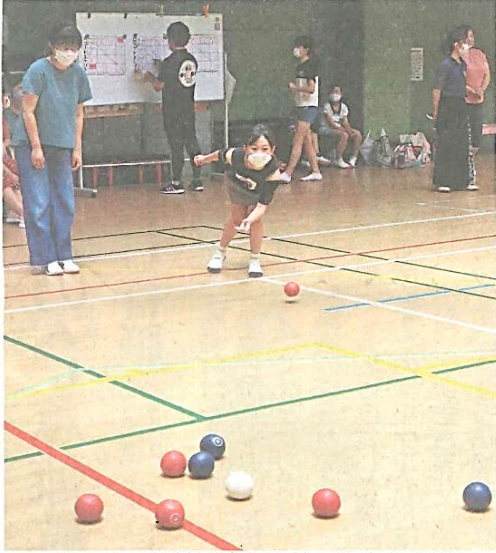
講義やゲームを通して発達障害について親子で考える催しが十九日、豊橋市障害者福祉会館さくらピア（同市東新町）で開かれた。障害者、健常者の子どもたちとその家族、約二十人が参加し、発達障害への理解を深めた。

さくらピアが毎年夏に企画し、今年で五回目。二部構成で、前半は発達障害の子どもを持つ親の会「ささゆりの会」の荒川千秋さんによる講義があった。荒川さんは子どもたちに得意なこと、苦手なことを質問。その上で「発達障害は、みんなと同じように得意不得意があって、その差が大きいただけ。得意な人が苦手な人を補い、助け合ってほし

い」と話した。

後半は、東京パラリンピックの正式種目でもあるボッチャの体験教室を実施。子どもたちは、白いジャックボール（目標球）に自分のボールを近づけようと真剣にプレー。障害者、健常者の子どもたちが互いに「惜しい惜しい」「ナイスショット」と声援を送り合っていた。

小学四年の高木紗愛さん（九）＝同市牛川町＝は「楽しかったので来年もやりたい」と笑顔。母の真由子さんは「このように交流する機会はありませんので、子どもにとってもいい機会になった」と話した。
（斎藤徹）



ボッチャを楽しむ参加者＝豊橋市東新町の市障害者福祉会館さくらピアで

中日新聞

2020年7月20日(月)

遊び通じて社会生活学ぶ

豊橋 さくらピアが夏休み親子防災教室

豊橋市東新町のさくらピア（豊橋市障害者福祉会館）は19日、「夏休み親子防災教室」を開催した。市内の小学生以上の子ども16人と親や付き添いの人ら11人、計27人が参加した。テーマは防災と福祉。災害時の避難場所ではいろんな人といっしょになる、その時どうしたらいいか「を考える防災教室」で、今回は発達障害について取り上げた。

講師は、発達障害の子どもを持つ親の会「ささゆりの会」のメンバー。はじめに「い

この日は同体育館で、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」の体験もあった。enjoy★ボッチャ代表の鈴木祥子さんと豊橋特別支援学校の先生たちの指導のもとに「ボッチャ」を楽しんだ。
（吉富恵子）



真剣に話を聞く子どもたち（さくらピアで）

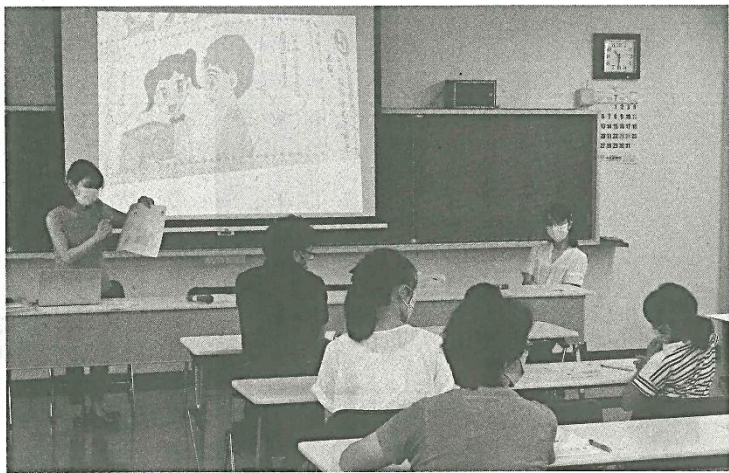
2020年7月20日(月)

東日新聞

親子で一緒に防災

豊橋「さくらピア」講師招き発達障害学ぶ

ボッチャ体験も



発達障害について学ぶ親子ら
＝いずれもさくらピアで

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で19日、「2020年夏防災親子防災教室」が開かれた。小学生を中心に市内の親子10組（子ども16人、保護者11人）が参加、障害と防災知識を深めた。

【田中博子】

毎年、夏休みの時期に、親子で障害者理解を深め、機会として開く。今回で

5回目。これまで防災頭巾や新聞紙を使ったスリッパペットボトルを利用

したラタン作り、視覚障害や聴覚障害についての学習など、年ごとにテーマを決めて学んできた。

今年も、発達障害の子

どもを持つ親の会「ささゆりの会」から、臨床心理士で公認心理師の資格を持つ荒川千秋さんと、福田歌織さんを講師に招き、「発達障害」について勉強した。

また、ソーシャルスキル（社会の中で他人と交わり、一緒に生活していくために必要な能力）も

今年、発達障害の子

どもを持つ親の会「ささ

ゆりの会」から、臨床心理士で公認心理師の資格を持つ荒川千秋さんと、福田歌織さんを講師に招き、「発達障害」について勉強した。

また、ソーシャルスキル（社会の中で他人と交わり、一緒に生活していくために必要な能力）も

今年、発達障害の子

どもを持つ親の会「ささ

ゆりの会」から、臨床心理士で公認心理師の資格を持つ荒川千秋さんと、福田歌織さんを講師に招き、「発達障害」について勉強した。

また、ソーシャルスキル（社会の中で他人と交わり、一緒に生活していくために必要な能力）も

今年、発達障害の子

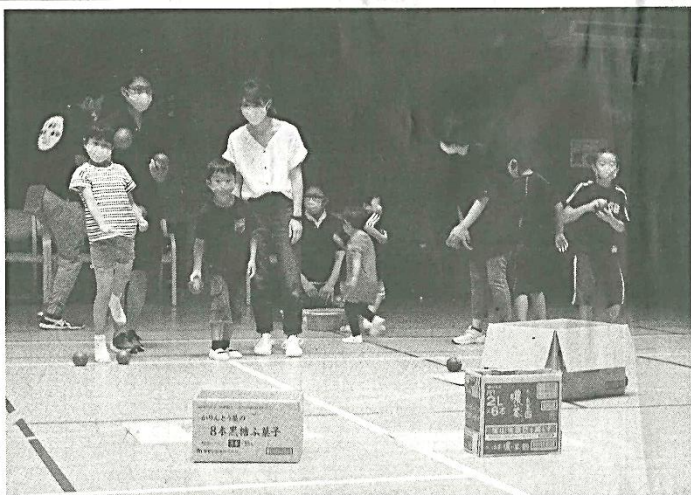
どもを持つ親の会「ささ

ゆりの会」から、臨床心理士で公認心理師の資格を持つ荒川千秋さんと、福田歌織さんを講師に招き、「発達障害」について勉強した。まず、自分の好きなことや嫌いなことを書き出し、周囲と確認しあって、人それぞれ異なる好みがあることを「個性」として認識した。「いろいろな個性の人たちが仲良く暮らすには」として、「発

達障害」について聞き、互いの苦手な部分を助け合うことの大切さを学ぶとともに、災害避難所などで障害のある人が困っていたら声をかける必要性も理解した。

また、ソーシャルスキル（社会の中で他人と交わり、一緒に生活していくために必要な能力）も学び、「相手のことをよく見る」ために、トイレットペーパーの輪でペアをつないで破れないよう歩く遊びや、「初対面の人にも上手に声をかける」ために、周囲にシャケンを頼み、勝ったらサインをもらいビンゴにする遊びもした。

座学の後には障害者スポーツの体験もあり、「enjoy★ボッチャ」の鈴木祥子代表らを講師に、パラリンピック正式種目「ボッチャ」に挑戦した。



ボッチャを体験する子どもたち

赤か青のボールを、ジヤックボールと呼ばれる白い球に向けて投げ、その距離を競う競技だ。参加者はボールの投げ方や転がし方を学んだ後、試合形式の実技も体験し、皆でボールの動きに一喜一憂していた。

「ボッチャを楽しみに来た」と話したのは、市内から初参加した安藤大智くん（小5）、康仁くん（小1）と父親の史敏さん。今回で4回目の参加という市立天伯小の糟

さくらピア避難所体験のあゆみ 2009~2020

実施企画

体育館で1泊2日

2009 ①	東海豪雨被災体験 「こどもはダウン症、母は耳が聞こえない」 地震体験車 防災設備確認ラリー	プライベート間仕切り組み立て実演 防災グッズ紹介・豊橋市の避難所状況 障害者の防災を考えるグループワーク	
2010 ②	「阪神・淡路大震災、その時知的障害者は…」 地震体験車	防災紙芝居「おそろしい台風」 手作り防災グッズ紹介	
2011 ③	応急手当講習「三角巾の使い方」 はしご車 東日本大震災	そのとき 私たちは どう動くのか JDF(日本障害フォーラム)の活動からみえてきたもの 南三陸町視察報告	
2012 ④	「災害救助最前線」自衛隊講演 防災なるほどクイズ カレー炊き出し体験 九州北部豪雨	防災講話 夜の避難訓練	報告集『体験しよう備えよう 避難所体験の取組』発行
2013 ⑤	「逃げ遅れる人々」映画上映 パククッキング 煙体験ハウス・地震体験車	ちょっと拝見みんなの非常持ち出し袋 夜の避難訓練	第18回防災まちづくり大賞 総務大臣賞
2014 ⑥	「地域防災と障害者」消防団講演 車いすダンスSHOW&逃げましょう 煙体験ハウス	防災ラジオドラマ作成	平成26年度防災ラジオドラマコンテスト 最優秀賞 平成26年度防災功労賞 内閣総理大臣賞
2015 ⑦	防災ラジオドラマに書ききれなかった思い 防災手話体験 関東・東北豪雨	防災レクリエーション 防災じゃんけん・新聞紙でスリッパ	
2016 ⑧	講演 あのとこのこと 「気仙沼避難所運営38日間の生活」 熊本地震 防災教育チャレンジプラン 防災教育大賞	講演 これからのこと 「こども・障害者・高齢者の命を守る備え」 あそ防災 じゃんけん・釣りゲーム 防活ひろば・避難所GO!	親子防災① 防災頭巾 防災手話 防災タイム①

他に毎年三月「3.11を忘れない集い」を実施。また春こいまつりでは「東北応援フレフレバザー」で東北の製品を販売。




マンガ『障害者が避難所に来たら』発行

災害ボランティアと合同訓練

2017 ⑨	① 伝えて～避難・報告訓練 さくらピアからあいピアへ 九州北部豪雨	② 地域で～ 避難所開設レイアウト実習	③ つながって 防活ミーティング 地域ごとで話し合い	親子防災② 防災頭巾 視覚障害者体験 防災タイム②
2018 ⑩	① ハートを伝える 避難・報告訓練 大阪府北部地震 北海道胆振東部地震	② 備えを学ぶ 講演「災害時に役立つ薬の話」 西日本豪雨	豊橋でも 台風24号の影響で 大停電が...	親子防災③ 防災折り紙 知的障害者とは 防災タイム③

みんなで協力する地域づくり

2019 ⑪	防災運動会 ①非常食配達ゲーム ②大声コンテスト ③防災釣りゲーム ④わっしょいリレー	活動紹介タイム 防災グッズ紹介(豊橋防災VCの会) 避難所絵カード・防災手話(豊橋手話ネットワーク) 防災企画のヒント(さくらピア)	 親子防災④ ペットボトルランタン ポッチャ体験 防災タイム④
-----------	--	--	--

新しい避難様式

2020 ⑫	①災害時の地域助け合いを進めよう ②避難所のトイレ事情 新型コロナウイルス	親子防災⑤ 発達障害とは ポッチャ体験 防災タイム⑤
-----------	--	---

2020年夏さくらピア文化教室
東京オリパラ応援イベント

ポッチャ水曜

東京パラリンピック競技のポッチャを基礎から学びます！

① 5月20日 ② 6月3日 ③ 6月17日
④ 7月1日 ⑤ 7月15日 ⑥ 7月29日
【全6回】(水) 10:00~12:00

2020年夏さくらピア文化教室

はじめてのパン

簡単で手軽に美味しいパンを作りましょ！

① 6/24 ビスケットおスコーン
イギリス風のお菓子のようなパン
② 7/22 ポンデケーキ
ブラジルの定番で持ちもちスコーンパン
③ 8/26 ソーダブレッド
イーストのかわりに重曹を用いたパン

7月12日 10:00~12:00

2020年夏さくらピア文化教室

ウマイ話にご用心!

漫画やイラスト・動画・イラスト・写真など、いろいろな方法で、実際にあった事柄を楽しく伝える方法を学びます！

2020年6月25日(木)

さくらピア 2020

七夕ライブ

季節の行事を楽しく学ぶ講座

10月1日 11月5日
12月3日 1月7日
2月4日 3月4日

2020年夏さくらピア

夏休み親子陶芸教室

7/12(日) 10:30~11:30

親子で陶芸に挑戦！
お皿やカップを作ろう

2020年夏さくらピア文化教室

マスクの会話を工夫しよう!

7月29日(水) 午後7時~8時30分

2020年夏さくらピア文化教室

寄せ植え講座

季節の花を使った寄せ植えを楽しみましょう

11月5日(木)

2020年夏さくらピア文化教室

季節の書道

季節の行事を楽しく学ぶ講座

10月1日 11月5日
12月3日 1月7日
2月4日 3月4日

2020年夏さくらピア

サマースクール

2020/08/05(水)

家族のパン作り

2020/08/05(水)

~小さなことからコツコツと~

第12回さくらピア避難所体験は、規模を大幅に縮小し定員 30 人で実施しました。企画は今年の「3.11を忘れない集い」で行う予定だった内容を仕切り直しました。定員が少ないため、みなさんに関心を持っていただけるよう事前アンケートを 200 余名の方に協力していただきました。

新しい生活様式、新しい避難様式、2020年とはかつてない大変革の年となりました。

障害者、高齢者の暮らしに近いさくらピアでも今後の行事の在り方について模索中ではありますが少しずつ進んでいきたいと思っています。

一緒に。未来へ。

2020年夏さくらピア文化教室

防災&ポッチャ教室

① 発災時について知ろう!
② 家族ポッチャを体験しよう!

7月19日(日) 10:00~12:00

2020年夏さくらピア

サマースクール

2020/08/30(日)

プラネタリウム・クワッド体験

2020年夏さくらピア文化教室

トイレの話

みんなが心配! と新しい避難様式

2020年9月26日(土) 午前10時~12時

2020年夏さくらピア文化教室

クリスマスケーキ作り

Merry Christmas! 作ろう!

12月19日(土) 午前10時~12時30分

2020年夏さくらピア文化教室

豊橋の文化を知ろう

漁人形浄瑠璃の歴史を学びます。

2020年9月30日(水) 午前10時30分~11時30分

2020年夏さくらピア

おとなのプラネタリウム

8月30日(日) 15時30分~16時30分

2020年夏さくらピア文化教室

リラックス体操

ストレッチボールを使った筋肉のほぐし方を学びます。

① 11月10日 ② 11月17日

2020年夏さくらピア文化教室

絵でかみ

★季節のたよりや年賀状、千支の置物を作ります

① 9/17 ② 10/15 ③ 11/19
④ 12/17 ⑤ 1/21 ⑥ 2/18

2020年夏さくらピア文化教室

Twilight Live

10/25(日) 15:00~16:30

さくらピア1階ロビー (入場無料)

2020年夏さくらピア文化教室

手洗い マスク

間をあける 入口を開ける

ご協力をお願いします

2020年夏さくらピア文化教室

スポーツ吹矢教室

誰でも手軽に、ゲーム感覚で楽しみながら健康になれるスポーツです!

① 11/28 ② 12/26
③ 1/30 ④ 2/27 ⑤ 3/27

2020年夏さくらピア文化教室

マスクの会話を工夫しよう!

① 10月18日(日) 10時~11時30分
② 10月30日(金) 13時30分~15時